

あじさい



支部長あいさつ

春暖の候、札幌第2支部会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。支部長2期2年目を迎えました田中でございます。令和2年2月15日に無事、支部大会が終了し、新たな役員、委員を迎えました。当札幌第2支部の地域は中央区、西区、手稲区にまたがる、会員数4,000名を超える大所帯の支部です。活動の推進のため、今年度から看護師職能委員を1名増員しています。医療を取り巻く状況が激しく変化する中、ますます看護職への期待は高まっていると感じます。今年度も役員、各委員の方々と協力し事業を進めてまいります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、例年通り広報出版委員会による「看護の日」の健康相談を皮切りに事業を開始いたします。特に今年は、ナイチンゲール生誕200周年にあたります。それを記念し、日本看護協会および北海道看護協会では「Nursing Now」キャンペーンに取り組んでいます。これは、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が積極的に健康課題に取り組み、人々の健康の向上のために貢献する世界的キャンペーンです。地域住民の方にも、積極的に広報できればと考えています。

また今年度は、働き続けられる職場づくり推進委員会によるハラスメントに関する研修を9月に行う予定です。働き方改革が推進されている昨今、ハラスメントに関する学びは大変重要です。多くの方の参加をお待ちしています。



田中いずみ 支部長

令和2年3月15日に予定していた地域包括ケア看護職ネットワーク研修「高齢者の生活と医療を統合する継続看護マネジメント」が、新型コロナウイルス感染症による影響により急遽中止となりました。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。多くの方からの研修応募があり、地域全体で継続して看護を提供しようとする意識の高さを感じました。改めて研修を組みたいと思っております。その他まだ、事業内容やスケジュールの詳細が決まっていないものも多くありますが、できるだけ皆様の意向をくみながら事業を進めたいと思っております。

ここ数年を振り返ると、自然災害や今回の感染症などに見るように不測の事態がいつ起こるかわかりません。札幌第2支部としては、看護の力を高め、連携を強化して地域の人々の健康を守るように努めたいと思います。最後に会員の皆様のご検討とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後も支部運営にご支援、ご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

副支部長あいさつ



高橋利江副支部長

この度、副支部長を務めることになりました、北海道大野記念病院の高橋利江と申します。微力ですが、会員の皆様からの声を大事にして、役員・委員の皆様と協力しながら、役割を果たすべく努めていきたいと思っております。

今、新型コロナウイルス感染症により、医療現場に大きな影響が及び、その対応に日夜奮闘されていることと思います。そのような中で、医療チームにおける看護職の役割発揮が、増々求められていると感じています。

令和2年は、診療報酬改定があり、2025年を見据えた基本方針は同様ですが、看護職の負担軽減の推進から、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度のB項目の評価方法が、初めて見直されます。其々の施設が、新たな取り組みや改革を進めるうえで、会員相互のネットワークとともに、支部からの医療・看護に関わる情報発信も大事になるのではないかと考えます。

また、今年は、オリンピックイヤーでもあります。たくさんの笑顔と光あふれる1年となりますように！どうぞよろしくお願いいたします。



千田典子副支部長

昨年、新任のご挨拶をさせて頂いてから、あっという間に1年が過ぎました。

皆さんが学びたいと思って研修会に参加してもらうためには、どのような観点から研修会を企画していく事が良いものか、また情勢より求められる看護に必要とされるものは何かという観点からも話し合い研修会を企画しております。

前年度、今般の新型コロナウイルス対策にて中止になりました『地域包括ケア看護職ネットワーク強化研修』は、【高齢者および認知症支援のための看護職連携等推進事業】の一環とし、本年度も継続していきます。地域の看護職と合同で企画して、地域の住民への発信も継続していきます。学びを深める場だけではなく看護の実際を知る機会となり、問題があれば提起し解決していく、その為には自施設以外の役割を理解することも必要です。

本年度は支部活動が看護をつなげる仕組みを構築していく機会へ発展するように願いをこめて活動していきたいと思っております。

リーダーシップ研修会 令和元年11月5日(火)・6日(水)

11月5日(火)・6日(水)の2日間にわたり「仕事経験から学ぶ力はリーダーシップの発揮につながる」というテーマで、リーダーシップ研修を開催しました。研修には、卒後4年～30年以上の様々なキャリア段階にある51名が参加しました。

研修1日目と2日目の午前は、札幌医科大学附属病院 看護部の小野寺美希子先生より講義をしていただきました。研修は、リーダーシップを経営学の「仕事経験」と「リーダーシップ力」の関係性として、経験から学びを活かす「経験学習サイクル」の理解を中心に学びました。講師からのお話だけでなく、受講生同士でディスカッションする時間をポイントごとに設け、自身の仕事経験を振り返り(リフレクション)、その内容を他者に伝えることを通して、講義の内容を

身につけられるスタイルでした。

研修2日目の午後からは、グループワークを行い、講義での学びを基に自己の抱える課題、今後とるべき行動等について明らかにできるよう意見交換をしました。2日間を通し、日ごろの仕事経験から学ぶ力とリーダーシップの発揮について理解し、実践への意欲を持てる有意義な時間を過ごすことができました。



《 編集後記 》

巷では新たな感染症などによりマスクが不足するなど異例な事態が起きており、何かと不安な状況となっております。第2支部は2月から新しい役員・委員会となり新年度がスタートしました。今年度も会員の皆様のお役に立てられるような情報発信をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

広報出版委員 N・M

